

高田援護室長の模型部屋(第17回)

皆さん、こんにちは。皆さんは職場の慰安旅行や学校であれば卒業旅行とかに行った事があります？自衛隊でも部隊によるのですが、厚生旅行に行くことがあります。

北海道の戦車部隊で勤務していた頃、洞爺湖や定山溪温泉に宿泊してスキーをしたり温泉に浸ったりしていました。でも、何回も同じところに行っていると飽きちゃうんですね～。スキーもそんなに好きでないし・・・で、とうとうプラモデルを持ち込んでホテルで作ってしまいました。娘が生まれたばかりでなかなか家で作ることが出来なかったので、製作するには千載一遇のチャンスでした(笑)

みんなスキーやスノボを持ち込んでバスに乗り込むのに、プラモの箱を持ち込む私の姿にみんな呆れてました。このくだりは「所長の模型部屋(第6回)」でも紹介させてもらっています。

で、今回はその旅行時に作っていた・・・

レオパルド2A6です。



レオパルドといえば、ドイツの主力戦車であり、世界最強の戦車とマニアでなくとも知っている方が多いのでは？特にレオパルド2は長きに渡り陸上自衛隊の新型戦車(後の90式戦車)の原型とか言われたりしていましたから。このレオパルド2A6は、砲塔にクサビ形の増加装甲を取り付けたA5の砲身を伸ばして装甲貫徹力を強化したタイプです。砲身が長くてカッコイイ！完成した時に一番感じましたね。

ホテルの部屋で黙々と戦車を作る私の周りに中隊の隠れモデラー達も集まり、プラモ談義で盛り上がった夜は楽しかったです。制作方法はもちろん、収納の工夫や飾り方のアイデアなど・・・

でも、この旅行を最後に厚生旅行は行ってませんね。司令部勤務や訓練が多忙だったので・・・



車体はタミヤアクリル塗料のNATOグリーン、NATOブラウン、NATOブラックを使用しました。微妙な色調のNATO迷彩を表現できます。エナメルスミ入れ塗料でスミ入れを施した後に、ウェザリングスティックを使って埃を乗せた程度です。履帯はシルバーにゴムパットをフラットブラックで塗装した後にスミ入れを施しました。舗装道路上を走行しているレオパルド・・・と勝手に想定しました。



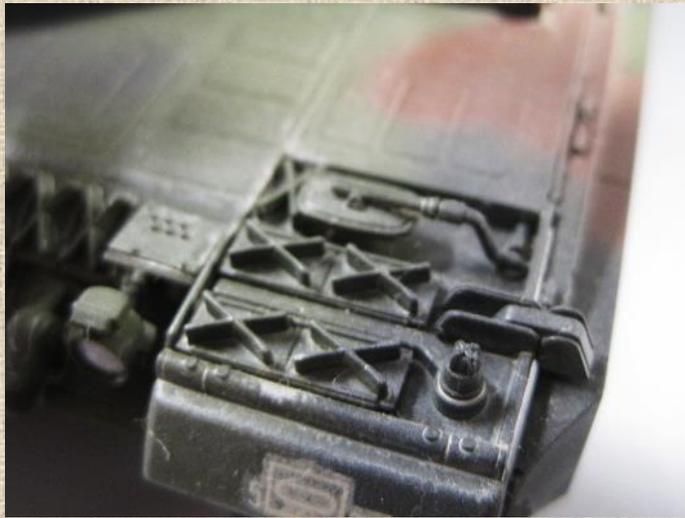
私の好きなこのアングル！長砲身だから更にカッコよえ！本当にこれだけでご飯3杯いけそうです。「ファイヤー(ドイツ語で「撃て！」)」戦車長の射撃号令が聞こえそうです。



ドイツ戦車兵の車長と装填手凛々しい顔つき。でも、迷彩服が…迷彩パターンが細かすぎ！
どうもうまく塗れません(泣)許してください。



砲手用レンジファインダーの前方は、視野確保のために装甲形状も考えられてます。透明部品の
奥行きが分かるように塗装したのですが…見えない(笑) 車載機関銃MG3A1機関銃は、いつもの
鉛筆の芯を擦って金属感を表現



砲塔を横に向けなきゃ見えない操縦手ハッチ。乗り降りが大変そうです。公道走行が当たり前なので、バックミラーもフェンダー上に折りたたんで常に装着されています。ちなみに陸上自衛隊の戦車ではあまり使用しないので別部品となっていて、必要の都度装着しています。「×」型の部品は履帯の滑り止めで、履帯ゴムパットの数枚に1個の割合でパットを外して取り付けるものです。



敵の対戦車ミサイル等のレーザー照準から煙で遮断する発煙弾発射機(左)。分割して発射するのかわ、一挙に発射するのかわかりませんが、ミサイルからの防護を重視していると感じてしまいます。エンジンの整備の為、砲塔を横に向けて更に側面防弾版を開かないとエンジンハッチを開放できないという得意な形状もこの模型で再現できています。整備大変そう！！



一般的に転輪の数が多いほうが不整地の凹凸を吸収し、走破しやすく乗り心地もよいといわれています。動画でレオパルドの走行シーンなんか見るとそれも納得します。もちろん、懸架装置の衝撃吸収能力も重要な要因ではあるのですが…

しかし、転輪片側7コで14コか…足回りの整備も大変そう。模型で作るのも数が多くて面倒なのに(笑)



ライトも透明部品が使われています。ライト内部をクロームシルバーで塗ることにより更にリアルに仕上がります。車体後部の部隊識別マークが旧ドイツ軍のものと似ているのが分かります。旧軍の伝統というか、歴史というか、そういうものをドイツ軍は大事にしているのが分かります。



プラモだから出来る、他国戦車との比較です。10式と90式と比べてみます。自衛隊の戦車もドイツ軍に負けなくらいカッコ良いですよ。右下:同じラインメタル砲身の90式と比べると、レオパルドの砲身の長さが分かります。



第3世代戦車の代表ともいえるレオパルド2A6戦車。今後はA7(市街地戦の増加装甲装着型)へと改修が進むとの事ですが、十分強い戦車だと思います。ただ、基本的な車体構造は変わっていないので、このレオパルド2の派生型を模型で作ったら飽きちゃいそうです(笑) そんな事を言ったら、どこの国の戦車も一緒なんですけどね。

この戦車作って一番の後悔は砲塔バスケットのメッシュをキットに付属していたネットを使用してしまった事ですかね・・・やはりエッチングのメッシュシートを使うべきでした(最下段右) さて、今回はここまで。また自己満足な世界にお付き合いくださいね！